

オーバルリンク 第9期 収支報告(2010年度)

2010/12/31現在
(単位: 円)
オーバルリンク

収入				
科目	予算額(A)	決算額(B)	予算対比(B)-(A)	主な内訳
前年度繰越金	¥ 881,430	¥ 653,581	¥ -227,849	
信託金	¥ -	¥ -	¥ -	
会費収入	¥ 660,000	¥ 432,000	¥ -228,000	
利息収入	¥ -	¥ 241	¥ 241	
セミナー収入	¥ 720,000	¥ 847,000	¥ 127,000	
イベント・コンテンツ収入	¥ 150,000	¥ -	¥ -150,000	
その他	¥ -	¥ -	¥ -	
収入合計	¥ 2,411,430	¥ 1,932,822	¥ -478,608	

会費収入内訳	会費収入	単価	人数
継続 一般	¥ 400,000	¥ 8,000	50
継続 学生			
新規 一般	¥ 24,000	¥ 12,000	2
新規 学生		¥ 3,000	
新規 一般 入会金		¥ 8,000	
新規 学生 入会金	¥ 4,000	¥ 2,000	2
新規 一般 半年	¥ 4,000	¥ 4,000	1
新規 学生 半年			
新規 会費免除・講師			
2009年度前払い			1
合計	¥ 432,000		53 名

支出				
科目	予算額(A)	決算額(B)	予算対比(B)-(A)	主な内訳
セミナー経費(実費)	¥ -	¥ 692,654	¥ -692,654	
業務委託費	¥ -	¥ 598,500	¥ -598,500	
支出合計	¥ 1,730,000	¥ 1,291,154	¥ 438,846	

I/O 業務委託明細				
科目	予算額(A)	決算額(B)	主な内訳	
コミュニティ運営代行	¥ -	¥ 210,500		
Hardware & Infrastruc	¥ 250,000	¥ 210,500	関心空間+ドメイン代+ML利用料+サーバー	
Software & Contents	¥ 315,000			
事務代行	¥ -	¥ 220,000		
備品	¥ -	¥ -		
事務運営費	¥ 200,000	¥ 215,000	税金、会計事務所等	
会議運営費	¥ -	¥ -		
通信・交通・諸	¥ 5,000	¥ 5,000		
予備費	¥ -	¥ -		
セミナー運営代行	¥ -	¥ 168,000		
総会(祭り)	¥ 500,000			
セミナー講師謝礼	¥ 360,000			
OVALAWARD	¥ 100,000			
合計	¥ 1,730,000	¥ 598,500	-1,131,500	

任意団体収支	¥ -11,913
次年度繰越金	¥ 641,668

※I/Oの収支は=	¥ 162,969	委託費からセミナー経費以外の支出を差し引いたもの
-----------	-----------	--------------------------

第2号議案 : 第9期 (2010年1月1日 ~ 2010年12月31日)活動報告

■会員限定&共催イベント (with 株式会社クオンタムアイディ)

■A invitation of "Stereoscopic 3D& Serendipity" Seminar&Party

「立体映像ビジネスの現在と未来」セミナー&パーティ

●日時 : 1月29日

●会場 : アロープラザ原宿

●講演者 :

大口孝之氏 (映像クリエイター /ジャーナリスト)

吉村司氏 (ソニー株式会社クリエイティブセンター デザインR&D プロデューサー)

古瀬学 (アールテクニカ株式会社 代表/OVALLINK理事)

前田邦宏 (クオンタムアイディ社長/OVALLINK代表理事)

●有料参加者数 : 30名

●概要

『AVATAR』や『カールじいさんの空飛ぶ家』の興行成績が好調で国内でも3D対応の映画館が300館を超え、ソニーやパナソニックが3D対応TVの生産に力を入れ、PS3が3Dコンテンツに対応したりと、映画館のみならず、家庭にも立体映像の波が押し寄せている昨今。

OVALLINK理事の古瀬学 (koss、アールテクニカ) が業界全体の動向を俯瞰し、業界関係者 (映像ジャーナリスト・大口孝之氏 /ソニー・吉村司氏) との鼎談を行った。

■第7期 OVALLINK定時総会

●日時 2月20日

●概要

神スタよりライブ中継によるオンライン総会

全会員数： 96

リアル出席者数：11

オンライン出席者数： 7

委任状出席者数：33 合計51 (53.1%)

議案

第 1号議案 第 7期活動結果報告

異議無く承認

第 2号議案 第 7期決算報告

異議無く承認

第 3号議案 第 8期役員を選出

新たに藤原 氏を選任、それ以外は再任。

第 4号議案 第 8期活動計画

異議無く承認

第 5号議案 第 8期予算

異議無く承認

■共催イベント (with 株式会社クオンタムアイディ)

■電子音楽 in JAPANの田中雄二さんを囲む会

●日時：2月26日

●会場：アロープラザ原宿

●講演者：田中雄二氏

●有料参加者数： 13名

●概要

不思議なノスタルジーを思い浮かべる「電子音楽」。それは子供番組に良く使われていたから？テクノミュージックを思春期に聞いていたから？ 『電子音楽in-JAPAN』の著者、田中雄二さんを招いて「電子音楽」の歴史とその背景からを独自の視点で語っていただいた。

今では入手困難な音源等（シュトックハウゼンから『鉄腕アトム』、ラジオ、ジングル、CM曲、ドラマの効果音、シンセサイザーのデモレコードまで）を聞かせていただきながら、皆さんの心象風景にぐっと訴えかけるディープな電子音楽絵巻ナイト。

■OVALLINK Web Site リニューアルリリース

●日時：4月15日

●URL：<http://www.ovallink.jp/>

●概要

koss、キシミクス、curry免停handlerなどの有志の尽力により、10年ぶりに公式サイトがリニューアルされた。

■次世代メディアセミナー The future of Digital Contents

■第1回 『デジタル化で活字文化と出版業界はどう変わる?』

●日時：4月26日

●場所：デジタルハリウッド大学院

●ナビゲーター：

神田敏晶氏 (KandaNewsNetwork)

橋本大也 (データセクション株式会社 代表/OVALLINK代表理事)

●講演者：

柴田よしき氏 (作家)

松浦 晋也氏 (ジャーナリスト)

鈴木一人氏 (編集者)

●有料参加者数： 49名

●概要

電子書籍元年ともいわれる2010年。iPhoneOS4.0、iPad、Kindle、Xperia...新しい情報端末が次々に発表され、ネットからはBlog、Twitter、UStream、セカイカメラなど新しいメディアが勃興している。

本セミナーは2010年代のメディアの進化を、多様な視点から眺め、議論する連続イベントの第1回。出版社、雑誌社、新聞社の経営者、営業マン、編集者、本の著者、読者、書店、取次。ソーシャルメディアの担い手としてのブロガー、ネット映像プロデューサー、そして電子書籍端末や携帯電話の開発者やコンテンツパブリッシャーなど、今、変化に関わる各界のオピニオンリーダーたちに、語っていただいた。

■次世代メディアセミナー The Future of Digital Contents

■第2回 『雑誌メディアの近未来 デジタル化による変容と次世代ビジネス』

●日時：5月31日

●場所：デジタルハリウッド大学院

●講演者：

揖斐憲氏（株式会社サイゾー代表取締役 サイゾー編集長）

竹田 茂氏（株式会社ワイアードビジョン代表取締役）

池田稔氏（元「マリ・クレール」編集長）

●ナビゲーター：

小西克博氏（富士山マガジンサービス顧問・編集長）

Ovallink 代表 橋本大也（データセクション株式会社 代表）

●有料参加者数： 45名

●概要：

雑誌出版社はデジタル化の波にどう対応するのか？

Kindle、iPad、iPhone、xperia、Readerなど、次世代メディアのテクノロジーが次々に登場した2010年のメディア業界。海外では雑誌のオンラインメディアとの統合や”フリーミアム”モデルによる新たなビジネス展開が雑誌出版社にとって、この大変化はチャンスなのか、ピンチなのか。

次世代メディアセミナー第2回は紙の雑誌、オンライン雑誌の編集長が集まって、2010年代の雑誌メディアのあり方について、カルチャー、ビジネス、テクノロジー他、それぞれの重要視する視点から、展望を語っていただき、参加者とともにメディア近未来を探った。

■次世代メディアセミナー The future of Digital Contents

■第3回 「キミはエンゲルバートを知っているか」

●日時：6月28日

●場所：デジタルハリウッド大学院

講演者：

服部桂氏（『第3の神話』翻訳者／朝日新聞社）

暦本純一氏（東京大学大学院情報学環教授／Sony CSL）

ナビゲーター：

江渡浩一郎（産業技術総合研究所研究員／OVALLINK理事）

柴村しのぶ（Wikiばな代表／OVALLINK会員）

橋本大也（データセクション株式会社 代表／OVALLINK代表理事）

●有料参加者数： 53名

●概要：

コンピュータを人間拡張のメディアとしたダグラス・エンゲルバート。マウスの父ダグラス・エンゲルバートは、1960年代アメリカ西海岸で活躍したユーザ・インタフェースの研究者である。彼は知の増幅装置としてのコンピュータを、アラン・ケイよりも早く予見していた。エンゲルバートは、コンピュータを人工知能のような人間の代替物としてではなく、人間を拡大して力を与えるものだと考えた。人間拡張としてのコンピュータ。その試みは、現在「集合知」と呼ばれる概念へと接続している。

次世代メディアセミナー The Future of Digital Contents 第三回では、2010年代のメディアの進化を、そのルーツのひとつであるカウンター・カルチャーにまで遡り、俯瞰した。

■次世代メディアセミナー The future of Digital Contents

■第4回 グローバル視点で考える2010年代のメディア・ビジネス+ラウンドテーブル

●日時：7月26日

●場所：デジタルハリウッド大学院

●講演者：森 祐治氏（（株式会社シンク 社長、デジハリ大学院教授））

●ラウンドテーブルメンバー

西野伸一郎氏（富士山マガジンサービス 社長）

中嶋 淳氏（アーキタイプ社長）

前田邦宏（クオンタムアイディ社長／OVALLINK代表理事）

篠崎晃一（株式会社SEデザイン 代表取締役／OVALLINK会員）

橋本大也（データセクション株式会社 代表／OVALLINK代表理事）

●参加者数： 20名

●概要：

ラウンドテーブル形式で20名の論客が集まり、非常に内容濃いイベントとなった。

まず、基調講演のシンクの森社長のプレゼンにより、グローバルの大局視点でコンテンツビジネスの動向が可視化され、ディスカッションにホットな議論の材料が提供された。

全員が当事者、あるいは専門家であり、本質や微妙なところのテーマをひたすら直球で語り合うことができた。「司会なのに時間がたつのを忘れました」とは、橋本代表理事。

■「写真の境界線 2010」

●日時：9月27日

●場所：デジタルハリウッド大学院

●講演者：

田中長徳氏（写真家）

三井公一氏（写真家） <http://sasurau.posterous.com/>

●ナビゲーター：

篠崎晃一（OVALLINK会員）

田邊俊雅（ハイブリッドメディア・ラボ代表／OVALLINK会員）

●有料参加者数： 28名

●概要：

「写真」と「写真ではない何か」を分ける境界線はどこにあるのか。そもそもそのような境界線は存在するのか。言葉で捉えることの出来ないその境界線は、面倒なことに自ら写真を撮ることなしには見えてこない。

ライカが銀塩カメラの製造を終了し、銀塩からデジタルへという意味においてもまさに境界線にある今、新旧の写真をブログを舞台につなぐイベントを通じて、「写真の境界線」について考えてみた。

■ 『ブックビジネス2.0』 セミナー第1回

■ 《本、アーキテクチャ、生態系 ～ 電子書籍語りバブルを越えて》

●日時：10月25日

●登壇者：

濱野智史氏（『アーキテクチャの生態系』著者／株式会社日本技芸リサーチャー）

橋本大也（データセクション株式会社 代表／OVALLINK代表理事）

李 明喜氏（空間ディレクター／デザインチームmattキャプテン）

岡本 真氏（プロデューサー／アカデミックリソースガイド代表取締役）

●ナビゲーター：

仲俣暁生（フリー編集者／『マガジン航』編集人）

木下 誠（プログラマー／HMDT株式会社代表取締役）

宮田和樹氏（『ブックビジネス2.0』企画担当／実業之日本社）

●有料参加者数： 40名

●概要：

「電子書籍語りバブル」とも言える状況となった2010年において、『ブックビジネス2.0 ウェブ時代の新しい本の生態系』は、類書とは一線を画した内容で、業界関係者の注目を集めている。本連続セミナーでは、『ブックビジネス2.0』の執筆者陣が、毎回、ゲストを招いて、この先にある〈本〉のかたちをめぐる、縦横に論じる。

第1回は、「〈本〉とアーキテクチャ」をテーマに、著者の橋本大也（OVALLINK代表理事）と岡本真氏が、ゲストに『アーキテクチャの生態系』で知られる社会学者・批評家の濱野智史氏と、空間ディレクターの李 明喜氏をそれぞれ招きセミナーを開催した。

■総会連動イベント

寄席 オーバル亭へようこそ いざ銭湯へ「ぜんら急げ！」

懐のカイロが熱うてたまらん！

旦那が「そお一仰る」ココロとは？

落語とソーシャル、OSSの合縁奇縁、3時間半

出演

- ・シスアドの資格を持つ落語家 三遊亭 めう生
- ・スーパーハッカー 吉岡弘隆
- ・フリーダムなIT系編集者・ライター モーリ・タロー（今北互業）
- ・ovallinkの精鋭達

日時:2月26日(土)

場所:綱島ラジウム温泉東京園

<http://www.tsunashima.com/shops/tokyoen/>

時間:13:00~16:30

イベント:13:00~16:30

終了後、残った人で風呂付き（銭湯なので男女「別浴」です）宴会

参加費：3,000円（ovallinkメンバーは2,500円）*なんと入浴料金1000円込です。

演目

落語 三遊亭 めう生（二席）

語り モーリ・タロー（今北互業）（落語とソーシャル・ネットワーク 「そお一仰る」）

大喜利（三遊亭めう生、吉岡弘隆、モーリ・タロー（今北互業）、ovallinkの精鋭達）

当日は晴天。

ロケーションは、入口からいきなり異世界・異時代に導かれる綱島温泉。

昼日中からじいちゃんばあちゃんが談笑したりカラオケで歌ったりしている大広間を通り抜け2階に上がり、階段右の大広間が本日のお座敷。

10時 スタッフ集合舞台の準備など

撮影 warasi

受付 フィールド

11時～ 理事会共同代表理事 ダイヤ、國廣。理事 koss、エドガー、カレー、babo、相川、フィールド、キシミクス、アキユキ、にむ（欠席） 監事 くら（理事会欠席）→総会延期の件につき緊急議論

クノキ、バンドル星人、ヒガシ、ば～、m5059さんと次々に会員到着
おまけ 相川（ワルオ）サン くうどー

12時頃～ 今のうち昼食をと1F売店で皆調達うまいと噂の「うな重」発注者多し注文した品が
できあがると全館放送で呼び出されますw

電車遅延により、到着していない会員もいるが13時 定刻過ぎ アキユキによる開始の挨拶

■落語三遊亭 めう生さん

普段は一階のじいちゃんばあちゃんみたいなオーディエンスばかりだが、今日はIT業界の人たちで、ちゃんと話を聞いているので緊張気味とのこと。まずは話の「枕」自体、のメタな話から・・・

演目は「牛ほめ」

■モーリ・タロー（今北互業）さん

落語好きのモーリさん。めう生さんの「牛ほめ」をうまいこと「枕」にしつつ、「Facebook」を解説。

「アメリカ人が作ったものなんでアメリカ人の感覚で使うのがいいんです」
つまり、ディレクターとかツリーとかサイトマップとか考えちゃダメ、ということらしい。

■大喜利

モーリ・タローさん
めう生さん
吉岡さん
エドガー
ゼロベース
國廣。

司会（「笑点」の円楽師匠の位置に）バンドル星人

イベント直前にMLで話題騒然となった國廣。よりNY最新情報

オープンソースと落語の共通点は「徒弟制度」でしょう（吉岡氏）

自分も師匠から教わったんだから、おまいらにも伝えなければならない（めう生）

■落語 三遊亭 めう生さん

創作落語。

舞台は新宿か池袋あたり。工事現場のガードマン（60歳くらいか）とホストクラブの店長が路上で口論、
なぜかガードマンはホストになり、その週の売り上げを店長と競うことに。

16:30 イベント終了
その後、風呂付宴会でお開き

■理事会開催

2010年

1月22日 場所：神スタ（渋谷区神南1-13-15光立ビル4F）
4月 7日 場所：神スタ
6月 2日 場所：神スタ
9月 1日 場所：神スタ
11月 1日 場所：民家バー

■ その他

- ・ 事務局運営
- ・ メールリングリスト [infoseek=oval@sml-z4.infoseek.co.jp] 運用
- ・ 理事連絡用メールリングリスト運用
- ・ 事務局受付+連絡用メールリングリスト運用
- ・ 公式サイト [<http://www.ovallink.jp/>] 運用
- ・ ML アーカイブ作成
- ・ KCW : コンテンツ空間 [[関心空間Pro=http://www.kanshin.jp/oval/](http://www.kanshin.jp/oval/)] 運用

第3号議案 : 第10期（2011年1月1日 ～ 2011年12月31日）予算案

第10期 予算計画 2011年1月1日 ~ 2011年12月31日

OVALLINK 第10期 予算書 (2011年度)

(単位: 円)
オーバルリンク

収入				
科目	前期決算額 (A)	予算額 (B)	前年度対比(B)-(A)	主な内訳
前年度繰越金	¥ 653,581	¥ 641,668	¥ -11,913	
信託金	¥ -	¥ -	¥ -	
会費収入	¥ 432,000	¥ 400,000	¥ -32,000	
利息収入	¥ 241	¥ -	¥ -241	
セミナー収入	¥ 847,000	¥ 630,000	¥ -217,000	¥3,000 *30人 *7回
イベント・コンテンツ収入	¥ -	¥ 75,000	¥ 75,000	
その他	¥ -	¥ -	¥ -	
収入合計	¥ 1,932,822	¥ 1,746,668	¥ -186,154	

会費収入内訳	会費収入	単価	人数
継続 一般	¥ 360,000	¥ 8,000	45
継続 学生			
新規 一般	¥ 24,000	¥ 12,000	2
新規 学生		¥ 3,000	
新規 一般、入会金免除		¥ 8,000	
新規 学生、入会金免除	¥ 4,000	¥ 2,000	2
新規 一般、半年	¥ 12,000	¥ 4,000	3
新規 学生、半年			
新規 会費免除、講師枠			6
2010年度に前払い			1
合計	¥ 400,000		59名

支出				
科目	前期決算額 (A)	予算額 (B)	前年度対比(B)-(A)	主な内訳
セミナー経費(実費)	¥ 692,654	¥ 532,000	¥ -160,654	謝礼+¥1000/回 *7回
業務委託費	¥ 598,500	¥ 650,000	¥ 51,500	
支出合計	¥ 1,291,154	¥ 1,182,000	¥ -109,154	

I/O 業務委託明細				
科目	前期決算額 (A)	予算額 (B)	主な内訳	
コミュニティ運営代行	¥ 210,500	¥ 220,000		
Hard & Infra	¥ 210,500	¥ 220,000	関心空間+ドメイン代+ML利用料+サーバー	
Software & Contents				
事務代行	¥ 220,000	¥ 225,000		
備品	¥ -			
事務運営費	¥ 215,000	¥ 220,000	税金、会計事務所等	
会議運営費	¥ -			
通信・交通・諸	¥ 5,000	¥ 5,000	振込手数料、ほか	
予備費	¥ -			
セミナー運営代行	¥ 168,000	¥ -		
総会(祭り)	¥ -	¥ 350,000		
OVALLINK 拡散費用	¥ -	¥ 150,000	英語版、国際化準備費用	
有償ML編集作業費用	¥ -	¥ 150,000	準備作業費用	
合計	¥ 598,500	¥ 650,000	¥ 51,500	

任意団体収支	¥ -11,913	¥ -77,000
次年度繰越金	¥ 641,668	¥ 564,668

任意団体とOVALLINK I/Oとの関係は認定NPTの認可との関係で変更されることもあり得ます。
その場合、上記予選の項目内訳が大きく変更されることもあり得ますが、最終的な数字には影響が無い予定です。

■ 活動方針

オーバルリンクが目指す『Diversity & Inclusion（多様性と包摂力）』。この二つの重心をバランスする思考と行動のデザインを具体化する。

具体化とは、切れ目のないディスカッション、一方通行の評論や批評に留まらず、オーバルリンク内での「語論」による合意形成を持って、その都度社会への公開提言を行うことであり、将来的に提言を実現するための非営利事業／社会活動を行うための行動指針となることを意味する。

活動施策1：現在、関心空間で会員が任意に行っている〈記憶に残る登校〉のような編集作業を、会員への提供サービスとして公式に行う。最低1ヶ月に一度会員有志が共同しながら編集してメルマガを発行したり、段階的に関心空間から過去のデータを構造化したり、オーバルリンクのコミュニケーション形態に合ったアーカイブシステムの構築準備を始める（本プロジェクトのコード名は「タルムード」。國廣。共同代表理事が責任者となる）。←過去の資産化

活動施策2：事業収益の更なる向上を図るために、前出の編集コンテンツの有償メルマガ化（WordでもePubでも良い）についても検討。例えば、シノドス（<http://synodos.jp/>）の運営に近いイメージ。非会員には、編集コンテンツのアーカイブへのアクセス権や膨大な未編集情報へのアクセス権を制限するなど考えられる。また、イベント回数を増やし、収益を上げて、逆に会費を下げるなどの活性化策についても検討する。なお、過去の編集コンテンツに加え、社会的課題や企業のCSRにもなるソリューションについての議論やコラムも掲載し、スポンサーを見つける活動を行う。モデルとしては、現在エニグモよりGreenzに譲渡された「Blabo!（<http://www.bla.bo/>）」のような感じ。以前、セミナーに登壇してくれた上田壮一さんや、社会貢献活動に熱心なトライバルメディアのイケダハヤトさん等はおそらく会社の了解を得て顔出ししている。オーバルリンクのメンバーも、一部顔出ししても良いのでは。←コンテンツ提供者へのエクイティ（ロイヤリティ？）の模索

活動施策3：昨年の課題として〈会員同士のコミュニケーションを活性化すること〉があったが、セミナーの運用に関わるスタッフやセミナー参加者、更にはメールリストのみの閲覧者や地方在住者との距離は埋まっていないように思われる。セミナーの収録／ストリーミングのアーカイブを毎回行い、セミナー後に期間を限定してMLにてディスカッションを行ったり、セミナー当日に参加できなかった会員を交えて、後日参加者と非参加者の情報共有を兼ねた飲み会を期間内に設定するなどする。←理事会の後はいよいよ飲み会をしているが、そこに会員が合流するような形でも良い。とにかく接点を増やす

活動施策4：昨年の課題として〈コミュニティの構成員の多様性を高めること〉があったが、これまでのセミナーのテーマ設定はIT業界の関心事に偏っていた。テーマ設定を例えば世界の政治経済情勢、アート、サイエンスなどと多様化させてみる。現在のオーバルリンクの会員の属性にこだわらず、告知ルートを多様化させることで非会員の来場者の興味関心に訴求し、徐々に情報発信者への多様性を高める施策を行う。ヘンな外人を増やすことができなかつたため、一年に一度海外からのゲストを呼ぶことを試みる。翻訳本が出たばかりの著者等。

活動施策5：Facebookの実名管理のグレーゾーンを活用し、匿名性と実名性の緩やかなグラデーションコミュニティの実証実験運用を始める。NPOがニックネームを使った会員のFacebook利用者の実在性、ユニーク性を担保する試みを行う。（芸能人の芸名による芸能活動の実在性を芸能事務所が証明するという形態が内閣府の管轄下にあるNPOが身元保証をしているということでニックネームが許されるかどうか？のFacebook社と交渉する試み）また、セミナーの集客や、総会の委任状、会員管理などにも積極的に活用する。あくまで実験ではあるが、社会提言の際の信用度を高めるには、会員の属性を部分的に明らかにする必要があると考える。ヘンな外人を呼び込むためにFacebookページで英語でも情報発信する。

第5号議案：理事の選任

第10期の役員として下記を選任致します

理事

ダイヤ@橋本 大也（再任）
國廣@前田 邦宏（再任）
にむ@西村 慶友（再任）
相川@相川 賢一（再任）
キシミクス@岸 正也（再任）
フィールド@横原 康二（再任）
エド@江渡 浩一郎（再任）
Curry免停@藤原 剛（再任）
ゼロベース@石橋 秀仁（新任）

監事

くう@寺田 遊（再任）

退任理事は koss@古瀬 学、 babo@豊原 道雄、 アキユキ星川 博

以上。